

今年の思い出



輝くエピソード

発行所

山形県立寒河江工業
高等学校PTA
山形県寒河江市緑町148
電話(86)4278

第79号
令和5年3月3日



寒河江工業高等学校 第59回創立記念式典



本年度PTA会長を務めさせて頂いております茂木と申します。二〇一九年十二月に隣国で発生しました新型コロナウイルスは感染拡大を続け、早三年の月日が経ちました。この影響での日常生活への影響は計り知れず、未だに皆様も感染防止のため、マスク等の感染対策を行っているのが現状であり、感染の心配は日々尽きることはありません。学校では、行事・部活動の制限や中止があり生徒たちの心の揺りや、やるせない気持ちを考えてと保護者等の一人として大変心を痛めました。三年生においては、高校入試から結局三年間、今まで当たり前に前に行っていた事が当たり前に行えない状況の中で高校三年間を終えようとしています。しかしながら、このようなコロナ禍にあっても、生徒たちは今できることを模索しながら一生懸命取り組まれてきたのではないのでしょうか。ワクチン接種や制限の緩和、旅行支援などの経済を止めないための施策など、国が中心となり様々な議論や取り組みが行われ、世情の中においてもうようやく前向きに動き出しているという実感も持てるようになってきたと思います。このように動き出した世の中に、今後何ができるのかを学校・保護者等・生徒と知恵を出し合い活動

していればと考えております。また、隣国のロシアとウクライナの侵攻も長期化が懸念され、現在では物価の上昇、円安等が激しく変動しており、今後の生活環境の変化が大きく懸念されます。人間としてどんな状況でも冷静に行動でき、また平和や環境の大切さを考え取組む大人になれる様に学校と生徒たちの手助けと成るような活動もしていければと考えております。

最後にになりましたが、PTA活動は役員のみでは難しく学校・保護者等の協力があって始めて円滑に行われると思います。このコロナ禍にあってPTA活動はほとんど実



PTA会長

茂木 真央

施できない状況にありました。保護者等の皆様には、子供達の成長を近くで見る機会でもありますので今後実施される場合はご参加いただければありがたいと思います。PTA会長という大役は、初めてでしたので先生方や保護者等の皆様に大変ご迷惑をお掛けしたと思います。ご支援、ご協力をいただきました。生徒たちが安心して学校生活、勉学に励む日常が戻ることを心より願っております。一年間ありがとうございました。

二〇二二年度を振り返り

各専門部より

今年度を振り返って

総務部部長 井上 真司

三年目のコロナ禍、行動制限緩和や療養期間短縮などの対応がありました。依然収束が見えない状況が継続しています。この状況で、今の生徒達、特に三年生は高校生活三年間をコロナ禍で過ごし、卒業を迎え就職や進学で社会に飛び立とうとしています。外部環境影響で学校生活、PTA活動も自粛や縮小を余儀なくされ、学校生活でしか経験出来たない経験値を積む事が出来なかつた事は非常に残念だと感じます。

現在、寒河江工業高校は新校舎の建設を進めており、次世代の地域産業を支えるエンジニア教育の最先端環境に生まれ変わろうとしています。今後も続くコロナ環境の中でも状況に合ったPTA活動を模索し、出来るだけ多くの学校活動を送れるように期待しております。

● 育成部部長 小山田康裕

昨年度に引き続き、今年度も新型コロナウイルスの影響により殆どの活動が中止となつてしましました。育成部として三年間務めさせていたが、昨年の九月に日々成長していく生徒達の姿を間近で見られる機会も少なく、非常に残念な思いでした。しかし、今年度の寒工祭では保護者等の方も来校され、生徒達と顔を合わせる事ができました。

また、本校は参加する事はできませんでしたが神輿の祭典も開催され、少しずつですが活動範囲が増えていることに、心から嬉しく思っています。

自粛や制限などで動きにくいご時世ですが、来年度は今年度中止となつたPTA活動の実施と地域行事に参加できることを願っています。そして、生徒保護者等、地域とのコミュニケーションを図るにより、PTA活動と学校活動がより活発なものになる事を望んでいます。

最後になりますが、大変な状況の中ご尽力いただきました先生方、PTA役員、保護者等の皆様に感謝申し上げます。三年間ありがとうございました。

● 文教部部長 石山 貴之

今年度の文教部の活動は、昨年度に引き続き、コロナウイルスの影響により様々な活動が中止になりました。そんな状況ではありましたが、昨年の九月に山形ビッグウイングで開催された、第五〇回村山地区高等学校PTA研修会に茂木会長と共に参加し、山形商業高校PTAの発表や、株式会社オーツ・パトリオーズの松本氏の講演をお聞き出来たことは非常に有意義なものでした。

本来なら各部の活動や地区PTA活動の様子を皆様にお伝えすることが文教部の役割なのですが、コロナの影響で、ほぼ全ての活動が中止になりました。非常に残念でなりません。しかし、少しずつ世の中の変化に対応していくことが今後の活動に必要なことだと思います。

この大変な状況の中、PTA活動にご尽力頂きました先生方、PTA役員、保護者等の皆様、全ての関係者の方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

一学年を振り返って

一学年主任

小笠原哲志

今年度中は寒河江工業高等学校及び第一学年に對するご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。

第一学年は六十四名と近年では最少の人数でのスタートとなりました。入学式の際は入場も呼名も早く終わり、少々寂しさを感じたことは事実です。

しかし、人数と活気・意欲は別物でした。どのクラスも積極的に授業を受け、概ね良好な成績をあげることができています。クラスマッチでは機械科が大縄跳びで全校一位を獲得したのを筆頭に躍動する姿が見られ、生徒会役員選挙では、生徒会活動の要となる常任委員に想定数を超える六名が立候補して全員が当選を果たしました。また、資格の取得や各

種コンクール・コンテストにも、多くの生徒が意欲的に取り組んでいます。

こうした活気ある一年間をおくることのできたのは、心身の健康管理を心がけ、毎日学校へと送り出してくださるご家庭の皆様のご支援があればこそだと思います。日々感謝しております。おかげさまで、新型コロナウイルスの影響が少なくない中、体調を整え、できるだけ登校して学校生活を楽しくしようとする生徒の姿を、年間を通して見る事ができました。

六十四名全員が無事に二学年へと進級して、より充実した学校生活を送ることができるよう、これからも教職員一同で生徒たちを教養育てていく所存です。引き続きご指導・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



保護者等の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

新型コロナウイルスとの闘いは四年目を迎えております。振り返れば、三年生はコロナウィルスが猛威を振るう中で、入学式の開催が遅れ、年度初めの授業も実施できない状況下での高校生活スタートでした。長引くコロナ禍にあつて、学校での活動は大幅に制限されましたが、三年間辛抱強く、そして粘り強く学校生活を送り、無事卒業の時を迎えられたことを大変嬉しく思っております。

今年度も一年間 ありがとうございました



校長
渡邊 晃

一に行われた三年生の「課題研究」成果発表会は、高校三年間の学習の集大成として、各学科ともに創意工夫と身に付けた知識・技術を盛り込んだ大変立派なものでした。ものづくりを通して、技能や勤勉さを身に付け人間を成長させる「工業教育」の持つ力を改めて実感しております。一・二年生も先輩方

の背中を見て、旋盤やコンピュータを操作し、一層の技術力を身に付けようと勉学に励んでいる姿は頼もしく感じられます。また、ものづくりコンテストでの活躍や技能検定等の専門教科での成果、各種コンテストでの素晴らしい成績など、たくさん

の結果を残してくれました。寒江江市が今年度から始めた「さがえ未来コンソーシアム」がえ少年少女発明クラブ」の活動への協力をはじめ、小学校や公民館への出前講座など、地域への貢献活動も例年以上に活発に行われました。地域に根ざす高校として、こうした地域貢献活動を通じて、生徒の皆さんが地域を好きになり、そして地域の皆さんから愛される学校になるよう今後も努力を継続してまいります。

来年度、本校は創立六十周年を迎えます。令和六年度には、現在建設が進められている新校舎での活動が始まります。大きな節目を迎え、来年度学科名をメカニカルエンジニア科、ロボットエンジニア科、ITエンジニア科にリニューアルします。これを機に、寒江工業高校の存在を地域社会に一層示していきたいと決意を新たにしているところです。

総務部

令和四年度

学校評価アンケート

総務部部長 宇野 秀俊

保護者等の皆様からアンケートにご協力いただきありがとうございました。

○回収率は保護者等が八五・五％、職員が一〇〇％でした。

○保護者等の評価はほとんど三・五以上で高い評価でした。②については新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、残念ながら行うことができない地区もありましたが、行った地区では高評価でした。今年度よりさらに連絡網を使用したことにより③が保護者等、教員共に昨年度より高評価になって

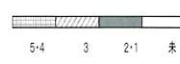
います。○今後記述頂いた部分も含めて結果を分析し、来年度に活かしていきたいと思

令和四年度 学校評価アンケートの集計結果【保護者等・教員】

●回収率：保護者等 85.5%、教員 100%

●各設問に対する評価

5 満足(十分) 4 概ね満足(概ね十分) 3 普通 2 やや不満(やや不十分) 1 不満(不十分)



①各科(資格取得・ものづくり等)の取り組みはどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者等	44	62	93	6	0	2	3.7	0.0
教員	9	17	7	2	0	0	3.9	△0.2

②各学年・各クラスの取り組みはどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者等	49	52	104	2	0	0	3.7	△0.1
教員	3	21	11	0	0	0	3.8	△0.3

③学校からの様々な情報提供はどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者等	47	64	85	9	2	0	3.7	△0.1
教員	5	20	8	2	0	0	3.8	△0.4

④いじめの早期発見のための取り組みとその後の対応はどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者等	41	50	107	4	1	4	3.6	0.0
教員	5	18	12	0	0	0	3.8	0.0

①全体PTA関係(総会・レクリエーション等の取り組みはどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者等	40	55	106	3	0	3	3.6	▼0.1
教員	8	14	13	0	0	0	3.9	△0.5

②地区PTA関係(地区懇談会・ボランティア等の取り組みはどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者等	31	30	60	3	1	82	3.7	▼0.1
教員	6	8	5	1	0	15	4.0	△0.2

③学習指導(授業・定期考査・課題等)の取り組みはどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者等	43	67	84	13	0	0	3.7	△0.1
教員	4	17	14	0	0	0	3.7	▼0.1

④お子さんの家庭学習への取り組みはどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者等	34	40	79	38	16	0	3.2	0.0
教員	1	3	13	14	4	0	2.5	△0.1

⑤生徒指導(身だしなみ・交通安全等)の取り組みはどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者等	51	55	95	6	0	0	3.7	0.0
教員	4	10	13	8	0	0	3.3	△0.3

⑥部活動指導はどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者等	56	44	90	15	2	0	3.7	△0.1
教員	5	10	15	5	0	0	3.4	0.0

⑦進路指導(就職・進学・公務員等)の取り組みはどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者等	49	50	94	9	1	4	3.7	▼0.1
教員	8	20	6	1	0	0	4.0	△0.1

⑧お子さんの進路活動への取り組みはどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者等	45	55	82	17	4	4	3.6	△0.1
教員	4	16	12	3	0	0	3.6	△0.1

⑨保健活動(健康・安全・衛生等)の取り組みはどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者等	40	65	97	5	0	0	3.7	0.0
教員	10	17	8	0	0	0	4.1	0.0

⑩個別指導・カウンセリング・特別支援教育等の取り組みはどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者等	33	42	122	5	0	5	3.5	0.0
教員	8	18	8	1	0	0	3.9	△0.1

「電子機械科」の一年

科長 鈴木 智夫

新校舎の建設が進む中、今年度は変化の多い一年となりました。今年の入学生から新カリキュラムがスタートし、また次年度より学科名が電子機械科は「ロボットエンジニア科」と名称が変わります。新校舎に入る最先端の実習装置も視野に入れ、産業ロボットやメカトロ実習装置、そしてAIやIoTに関する内容など、実習内容を検討し、新しい実習を取り入れながら、現在進行形でカリキュラムの編成を進めているところです。

今年度の活動を振り返ってみると、生徒の素晴らしい活躍が見られました。本校で十月末に開催された「マイコンカーラリー県大会」では、三部門中二種目優勝、入賞者多数の活躍、電子機械科ではカメクラス優勝の菅野君、アドバンスクラス入賞の熊谷君が一月に大阪で開催された全国大会に出場するなど顕著な成績を収めました。

また、三年生の進路においては、十月には就職希望者全員が内定し、進学関係も科では十周年ぶりとなる山形大学の合格者を始め、四大や産技短、専門学校、第一希望に全員が合格を決めています。

その他、例年行っている企業や本校OBの方々の協力を得て、はんだ付け講習会や職業体験な

どを行い、技術力の向上を図ることができました。多くの生徒が資格取得に積極的に取り組んでおり、その指標となるジュニアマイスター顕彰においては、ゴールド二名、シルバー六名、ブロンズ六名と取得者が増加しています。

全国高校ロボット競技大会
出場を目指して

指導担当 佐々木裕章

メカトロアイデアコンテストは、全国高校ロボット競技大会の山形県予選会を兼ねており、全国大会開催県から出された難しい競技内容を克服するため、生徒たちがアイデアと技術を駆使して、自作したロボットで競い合う大会です。今年の競技内容は、青森県のりんご畑をイメージした段差を上り下りしながら、りんごの木に見立てたピンポン球と塩ビパイプを回収し、指定された設置場所に置くものでした。

この難問に工業研究部員八名が挑戦しました。二十cm、三十cmの段差を早く確実に上り下りする機構、細い塩ビパイプとその上に載っているピンポン球を早く確実にまとめて回収・設置できる機構を模索して、試作と実験を繰り返しながらロボットを組み上げていきました。

九月二十四日、酒田光陵高校でメカトロアイデアコンテストが開催されました。大会本番では、練習通り機敏な動きで段差を上り下りして、目標としていた十二組の塩ビパイプとピンポン球を回収・設置したものの、得点が三倍になるボーナスポイントを獲得できなかったことが響いて五位、全国大会出場を逃してしまいました。

約半年間にわたる製作活動を通して、生徒達は、自分達で作

り上げたロボットでやりたかったことを実現できた達成感、仲間と協力してロボットを作ることの楽しさを体感できたようでした。



生徒会長として

新生徒会長 渡邊 蓮



この度、新生徒会長に就任した二年情

報技術科の渡邊蓮です。昨年度は、寒工祭実行委員として活動していました。私は、生徒会とは真面目で堅苦しいイメージがあると考えています。確かに間違っているのではないかもしれませんが、感じることができれば、生徒から意見をより多く出すことができると思います。そのため私は、この壁のような物を取り除きたいと思っています。

私の長所は、コミュニケーション能力があることです。そのためコミュニケーション能力を最大限生かし、先生や生徒とよりコミュニケーションをとり、校則などの改善点を出してもらい、積極的に変えていきます。そして今よりも充実した生活を送れるようにします。

生徒も先生も活発な寒河江工業高校を作っていきますのでこれからの生徒会をよろしくお願いします。

自分と向き合う大切さ

弓道部顧問 小野 光祥

今年度の弓道部は、三年生九名、二年生六名、一年生四名の十九名でスタート、全員が高校入学後に弓道を始めた部員です。三年生最後の地区大会は、団体戦三位で県大会出場権を獲得。個人も六名が県大会に進みまし。県総体では個人で惜しくも東北大会出場に届かず、団体も予選敗退、決勝リーグ五校には残れませんでした。新チームが始まり、地区大会は団体二位、個人一位、



進路指導部より

進路指導部部長 佐々木裕章

希望進路を実現させた三年生の皆さん、内定・合格おめでとございます。

今年度の進路状況を報告します。三年生の在籍は一〇二名、公務員を含めた就職が、五五％（昨年度四〇％）、進学が四五％（昨年度六〇％）となっていました。本校の特徴として、これまで就職希望者が多かったのですが、昨年度は新型コロナウイルスによる社会情勢の変化の影響で、進学者が大幅に増えてしまいました。今年度は就職希望者がやや増加しました。

民間就職内定者は五一名、県内が四五名、県外が六名で、就職希望のほとんどの人が自宅から通勤できる県内企業を希望するなど地元志向が顕著です。県内求人件数は三二八件（昨

三位。選抜予選は団体三位と順調に県大会出場を決めました。県選抜大会は三人制団体で三位。東北大会出場権を獲得し、これまでの大会を通して最高の的中を出し、三位入賞。東北の頂点まであと一歩という経験を積み、自分たちの取り組みと結果に大きな自信となりました。また、県新人大会で個人優勝した児玉瀬名は、全国選抜大会に出場、予選を通過、準決勝まで進み、個人・団体ともに東北、全国で十分戦えることを示せたと思います。

情報技術科では各種大会出場や様々なイベント参加など、積極的に取り組んできました。WRO山形予選会では、ミドルクラス高校の部にて、一、二位を独占し、静岡県で開催された全国大会に出場しました。マイコンカーラリー県大会ではベースッククラス優勝、アドバンスドクラス四位、六位を獲得し、ベースッククラスで、全国大会への出場することができました。

情報技術科の活動として

科長 鈴木わか奈

地域交流として、西沼田遺跡公園で開催したドローン教室、末広公民館夏祭りものづくり教室、山形県産業科学館ライントレースロボット製作とプログラミング教室などを始め、市内の小学校を対象にマイクロビットを用いたプログラミング教室、また新たな取り組みとして、さがえ未来コンソーシアム事業の寒河江少年少女発明クラブにおいて、ゲームのプログラミング教室を開催しました。

その中でも、海洋ゴミ回収ロボット製作では、海と日本プロジェクトの発表・展示に参加し、SDGsを知るきっかけとなりました。製作したロボットで実証実験を重ね、改良を繰り返しながら完成までに至り、その成果が認められ、国土交通省山形河川国道事務所様より特別賞を頂くことができました。



二年生を振り返って

二年生主任 松田 誠樹

今年も、昨年に引き続きコロナウイルスの影響が様々な面に表れてしまった一年間でした。しかしそのような中で関係各位のご協力のおかげにより、インターンシップを七月に実施できたことは幸いでした。生徒一人一人が自分の将来を考え、実際に就業体験を行うことによってさらに将来について深く考えることができたと思います。また、九月には一学年の生徒諸君も参加する中で報告会を実施しました。報告者となった生徒諸君は、報告に加え、後輩への有益なアドバイスを立派にその大役を務めました。さらに、企業の方からも、事後のアンケートを見ると好印象を持っていただけたようです。また、十一月には予定通り

名を含む大学校等が二十一名、各種専門学校が十四名の合格となっていました。進学については生徒数減等により希望が叶いやすい状況になっていますが、国・公立大学への進学は依然として難易度が高く、自分をPRできるための材料や体験、書いたり話したりする力も必要になってきています。また、入試方法も多様化し、早めに希望校、受験方法を考え、対策を練ることが大切です。今年度も多くの方々に支えられ、進学・就職ともに三年生の頑張りや表れた進路活動、内定状況となりました。関係の皆様には心より感謝申し上げます。



に高校三年間で最大の行事である修学旅行を実施することができました。全員が参加し、クラスごとの研修や班ごとの自主研修を行いました。コロナウイルス対策を行った中で旅行でしたが、級友たちと有意義な時間を過ごすことができました。さて現在は、自分の将来について真剣に考える時期です。学校でも様々な行事を通して進路に関する情報を提供していきます。ご家庭でも参考にしてください。この三学期は一年間を締めくくる大切な時期です。生徒全員が三年生に進級し、各自の進路目標を達成することを願っています。

